

春は栃木市で花めぐり

金崎のさくらまつり



思川の土手沿いに続く約200本の桜並木は圧巻!

期間 4月1日(日)~15日(日)

※さくらまつりイベント8日(日)

場所 金崎の桜堤 (思川河川敷とその周辺 ※東武金崎駅より徒歩5分)

問合せ 西方町観光協会 (西方産業振興課内) ☎(92)0313

期間 4月3日(火)~9日(月)

※開花状況により変更あり

※ライトアップ時間 18時~22時

※イベント 7日(土)・8日(日) 11時~19時

場所 大平運動公園前さくら通り

問合せ おおひら桜まつり実行委員会事務局 (大平産業振興課内) ☎(43)9213



太平山桜まつり

期間 3月30日(金)~4月8日(日)

場所 太平山県立自然公園 ※期間中、謙信平駐車場は有料。

問合せ 太平山桜まつり実行委員会 観光振興課内 ☎(21)2374

つがの里花彩祭 2018



樹齢170年の山桜「つがの里桜」をはじめ、しだれ桜、ソメイヨシノ、山桜、八重桜が次々と開花。土日にはイベント開催も。

期間 4月1日(日)~15日(日)

場所 つがの里 ※21時までぼんぼりが点灯。土日イベント開催。

問合せ つがの里花まつり実行委員会 ☎(29)1104 つがの里ふるさとセンター (都賀産業振興課内) ☎(92)0008

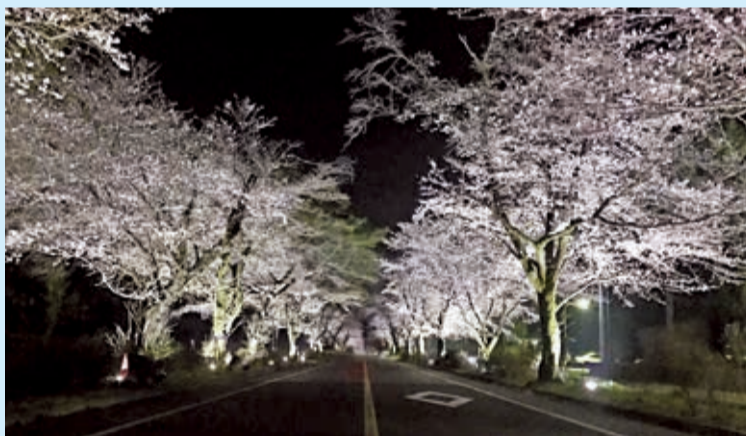
桜と気球がコラボするバルーンレースのほか、熱気球教室や搭乗体験(有料)、夜空に輝く幻想的なバルーンと打ち上げ花火の競演「バルーンイリュージョン」、各種ステージ・特設会場など。

バルーンレース: 競技開始日時 さくら祭り
期間 4月6日(金)・7日(土)・8日(日) 4月7日(土)・8日(日)
●6日: 7:00~15:00 ●8日: 6:00~ ●8日: 9:00~19:00 ●8日: 9:00~16:00

場所 藤岡渡良瀬運動公園

問合せ 渡良瀬バルーンレース実行委員会・藤岡町観光協会 藤岡産業振興課内 ☎(62)0907

第33回 おおひら桜まつり



渡良瀬バルーンレース & 第24回藤岡さくら祭り

市長通信

高校生と共に歩むまちづくり

市民の皆さん、こんにちは。

先日は、高校生のスポーツの分野で、市にとっても18年ぶりとなる吉報がもたらされました。「春のセンバツ」として知られる、第90回記念選抜高等学校野球大会に、市内の國學院大學栃木高等学校が出場することになりました。3月23日の開幕を目前に控え、選手の皆さんが自慢のチームワークと機動力を遺憾なく発揮し、大いに活躍されることを期待しています。市民一丸となって応援していきましょう。

さて、市内9つの高校に6千人以上の生徒が通学する、高校生のまちでもある栃木市。国栃野球部のみならず、スポーツ分野や文化活動における高校生の皆さんの活躍は目覚ましいものがありますが、まちづくりの分野においても、高校生の存在感が増しています。今回は、そんな市内の高校生の皆さんの取り組みについてご紹介したい

と思います。

近年は、全国各地で、高校生によるまちづくり活動が話題になるようになってきました。栃木県内においても、各地で高校生によるグループが立ち上がり、まちづくり活動を行う例が増えてきました。それらの中でも、特に際立った成果を上げているのが、本市で活動する「とちぎ高校生蔵部」です。

とちぎ高校生蔵部は、平成26年4月に設立され、市内の高等学校に通学し、まちづくりに関心のある高校生が、学校の垣根を越えて気軽に集い、高校生の視点による自主的なまちづくり活動を展開しています。

その活動は、各地のイベントの手伝いをはじめ、栃木女子高校や栃木農業高校、國學院栃木高校とコラボし、交流人口の増加を目指した「とちぎの街散策マップ」の作成、市内の蔵の街大通りの空き店舗や見世蔵を活用した「栃木市高校生合同文化祭」の開催など、多岐にわたります。

こうした種々の活動により培った企画力が実を結び、昨年11月に宇都宮市にて初めて開催された「とちぎハイスクールフェスティバル2017」では、

県内12の団体の中で、見事グランプリを獲得されました。

市では、こうした高校生の皆さんの、大人にはない柔軟な発想、技術、知識などを、まちづくりに生かすため、様々な取り組みを行っています。その取り組みのひとつが、市と高校とで結ぶ「包括連携協定」です。

包括連携協定とは、自治体と民間企業などが、双方の強みを生かして協力しながら、課題解決に対応するための大枠を定めたものですが、最近は自治体と各学校で結ぶ例も増えています。栃木市も、昨年7月には、栃木農業高等学校との包括連携協定を結んだほか、現在、別の高校とも協定の締結に向け、話し合いを進めるなど、市内各校との協力関係をさらに進めていきたいと考えています。

今後とも、高校生の皆さんの活力を生かしたまちづくりを進めていきたいと思っています。高校生の皆さん、ぜひ、皆さんの力で、栃木市を元気にしていきましょう!

栃木市長 鈴木俊美



No.61